



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年7月31日

上場会社名 ディーブイエックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3079 URL http://www.dvx.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 千葉 茂  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 魚住 洋二 TEL 03-5985-6827  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	7,338	3.6	280	△19.5	285	△18.2	520	133.6
27年3月期第1四半期	7,086	14.1	348	3.5	348	0.9	222	0.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	46.17	—
27年3月期第1四半期	19.77	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	13,312	5,242	39.4
27年3月期	12,760	4,978	39.0

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 5,242百万円 27年3月期 4,978百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期（予想）	—	0.00	—	23.00	23.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注2) 期末配当金の内訳は、以下のとおりであります。

27年3月期 普通配当 17円00銭 記念配当 1円00銭

28年3月期 普通配当 23円00銭

### 3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	15,734	10.8	698	△2.5	698	△3.9	750	62.3	66.52
通期	31,589	10.3	1,530	7.0	1,530	5.0	1,289	40.2	114.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	11,280,000株	27年3月期	11,280,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	2,476株	27年3月期	2,476株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	11,277,524株	27年3月期1Q	11,277,524株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、設備投資が増加傾向にあったものの、個人消費は伸び悩んでおり、企業の生産活動も一進一退で推移する等、引き続き景気回復に向けた力強さに欠ける状況となりました。為替水準は、米国の利上げ期待からドル高が進行し、一時13年ぶりに1ドル125円台に乗せることとなりましたが、ギリシャの債務不履行懸念から、四半期末にかけて値を戻す等、値動きの激しい展開となりました。

医療を取り巻く環境につきましては、2020年（平成32年）にプライマリー・バランスの黒字化を目指す観点から、経済財政諮問会議等において医療費の適正化に向けた取り組みがまとめられたほか、医療のICT化を進めることが閣議決定されました。また、医療保険制度に関する改革法が成立し、平成30年度から国民健康保険の運営主体が、市町村から都道府県に移管されることとなったほか、患者申出療養が平成28年4月から導入されることとなりました。

このような情勢のもと、当社では、経営の効率化や販売体制の強化に取り組み、業容の拡大を目指してまいりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は7,338,524千円（前年同期比3.6%増）となりました。営業利益は、円安による輸入商品の仕入単価上昇や、人員増加による人件費の増加により280,695千円（前年同期比19.5%減）、経常利益は285,164千円（前年同期比18.2%減）となりました。四半期純利益は、保有する株式の一部を売却したことで投資有価証券売却益476,843千円が特別利益に計上されたことにより、520,635千円（前年同期比133.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 不整脈事業

既存顧客に対するサービスの充実に努めるとともに、新規顧客の開拓にも注力いたしました。その結果、心臓ペースメーカーやアブレーション（心筋焼灼術）カテーテル類等の主力商品の販売数量が増加し、当第1四半期累計期間の売上高は6,093,680千円（前年同期比8.8%増）、セグメント利益は853,958千円（前年同期比8.9%増）となりました。

#### ② 虚血事業

輸入総代理店として取り扱っている自動造影剤注入装置「ACIST」やエキシマレーザ血管形成システムの消耗品類の販売が堅調に推移したものの、円安の影響によりこれら輸入商品の仕入価格が上昇したため、利益率が低下することとなりました。また、冠動脈ステント等を取り扱っている販売代理店としては、全般的に症例数が伸び悩んだことから、販売が低調に推移いたしました。その結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,081,603千円（前年同期比4.5%減）、セグメント利益は296,590千円（前年同期比19.0%減）となりました。

#### ③ その他

前第1四半期累計期間にあった大型機器の販売が、当第1四半期累計期間にはなかったことから、当第1四半期累計期間の売上高は163,240千円（前年同期比53.7%減）、セグメント利益は25,000千円（前年同期比29.5%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ685,556千円増加し、12,428,958千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が177,637千円減少する一方、投資有価証券売却に係る未収入金が増加したことでその他の流動資産が600,315千円、並びに現金及び預金が311,690千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ133,852千円減少し、883,644千円となりました。これは主に、保有する株式の一部を売却したことで、投資有価証券が239,935千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ551,703千円増加し、13,312,602千円となりました。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ278,415千円増加し、7,713,153千円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴って買掛金が184,920千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ9,323千円増加し、356,560千円となりました。これは主に、退職給付引当金が6,265千円増加したことによるものであります。

これらの結果、当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べ287,738千円増加し、8,069,713千円となりました。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ263,965千円増加し、5,242,888千円となりました。これは主に、剰余金の配当により202,995千円減少したものの、四半期純利益により520,635千円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は39.4%（前事業年度末は39.0%）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、第1四半期会計期間において投資有価証券売却益が発生したこと等により、平成27年5月15日公表の「平成26年3月期 決算短信」における業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表している「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,292,872	3,604,562
受取手形及び売掛金	7,246,566	7,068,929
商品	945,788	923,976
繰延税金資産	122,000	95,000
その他	137,074	737,389
貸倒引当金	△900	△900
流動資産合計	11,743,401	12,428,958
固定資産		
有形固定資産	414,833	418,835
無形固定資産	48,228	45,842
投資その他の資産		
投資有価証券	368,768	128,832
差入保証金	116,596	151,464
繰延税金資産	58,000	85,000
その他	11,071	53,669
投資その他の資産合計	554,436	418,966
固定資産合計	1,017,497	883,644
資産合計	12,760,899	13,312,602
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,593,794	6,778,715
1年内返済予定の長期借入金	59,116	69,112
未払法人税等	267,300	250,000
賞与引当金	194,720	104,493
売上値引引当金	-	32,109
その他	319,806	478,723
流動負債合計	7,434,738	7,713,153
固定負債		
長期借入金	84,240	88,632
退職給付引当金	168,655	174,921
役員退職慰労引当金	78,431	77,052
その他	15,910	15,955
固定負債合計	347,237	356,560
負債合計	7,781,975	8,069,713
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	344,457	344,457
資本剰余金	314,730	314,730
利益剰余金	4,261,636	4,579,276
自己株式	△547	△547
株主資本合計	4,920,277	5,237,917
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	58,645	4,971
評価・換算差額等合計	58,645	4,971
純資産合計	4,978,923	5,242,888
負債純資産合計	12,760,899	13,312,602

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	7,086,233	7,338,524
売上原価	5,900,451	6,162,976
売上総利益	1,185,782	1,175,548
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	296,319	315,821
賞与引当金繰入額	101,435	104,493
役員退職慰労引当金繰入額	1,887	1,920
退職給付費用	7,088	12,232
その他	430,153	460,385
販売費及び一般管理費合計	836,884	894,853
営業利益	348,897	280,695
営業外収益		
受取利息	64	73
貸倒引当金戻入額	1,400	—
為替差益	2,201	—
デリバティブ評価益	—	7,207
その他	2,126	896
営業外収益合計	5,792	8,176
営業外費用		
支払利息	196	162
為替差損	—	3,545
デリバティブ評価損	5,763	—
営業外費用合計	5,959	3,707
経常利益	348,730	285,164
特別利益		
投資有価証券売却益	—	476,843
特別利益合計	—	476,843
税引前四半期純利益	348,730	762,007
法人税、住民税及び事業税	115,709	215,764
法人税等調整額	10,106	25,608
法人税等合計	125,816	241,372
四半期純利益	222,913	520,635

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。